

現役メンバー紹介

Regular

コンサートマスター 下村忠義 (E) 法政・日文

A.sax 中山智之 (F) 明治大
椿 理恵 (D) 文京女子短大

T.sax 岡本明子 (F) 法政・経済
神 静恵 (E) 法政・英文

B.sax 金田邦彦 (E) 法政・文哲

Tp 湯浅鉄兵 (D) 法政・経営
青柳風太 (E) 法政・政治
押尾高嗣 (E) 法政・法
藤本万里子 (F) 中央大

Tb 木村真以子 (F) 法政・経営
山本聡一 (C) 東京理科大
青柳美紀 (C) 法政・経営工
足立恵子 (C) 武蔵野音大

Gt 石井隆郎 (F) 法政・文哲

Bs 神代大輔 (C) 法政・国際文化

Pf 久保田早紀 (C) 法政・国際文化

Ds 関戸俊彦 (C) 法政・経営
余田崇徳 (C) 法政・日文

Junior

A.sax 上条千史 (C) 法政・経営

T.sax 岩瀬慶介 (D) 法政・経営
橋口周平 (C) 法政・経営
鈴木晶人 (C) 法政・社会

B.sax 山岸陽 (C) 法政・国際文化

Tp 市川尚 (D) 明治大
高橋瑠美 (C) 法政・経営
森田 彩 (C) 法政・日文
小川真都佳 (C) 法政・英文

Tb 平川麻由 (C) 法政・日文

Gt 橋爪康介 (C) 法政・経営

Dr 伊藤 巧 (C) 法政・文史

創立 40 周年記念式典



2000年10月21日(土) 12:00pm~

日本青年館・東洋軒

法政大学

New Orange

Swing Orchestra

2000年度 幹部紹介

バンドマスター	石井隆郎	4年
マネージャー	岩瀬慶介	2年
コンサートマスター	下村忠義	3年
ジュニア・コンサートマスター	湯浅鉄兵	2年

ニューオレ連絡先 (岩瀬)

ニューオレ携帯 (iモード) 090-4608-8460

e-mail: 09046088460@docomo.ne.jp

ごあいさつ

『N.O.S.O. 40周年記念』

部長・斎藤茂



法政大学は創立120周年を迎えることになりました。その祝宴のバックグラウンドミュージックの演奏に、ニューオレが選ばれました。名誉なことです。我がニューオレも創立40周年となりました。名誉部長の中井先生と大先輩との結びつきからニューオレの誕生。中井先生が20年以上軽音楽部長をつとめられたあと、20年近く私は中先輩・小先輩とおつきあいを重ねてまいりました。何だかあつと言う間のことのように思えます。

生い立ちの頃は、今とは違う様々な苦勞がありました。楽器の置き場もままならず、今は形が消えた第二58年館地下2階の化学倉庫に格納するために、リヤカーを引いていたメンバーの姿が思い出されます。また、大先輩の活躍は、著名なニューハードの山木さんのご指導を受ける道を開きました。ニューオレの誕生から成長、そして現在も山木さんからは、変わらぬ愛情を持ったご指導を頂いております。心から感謝いたします。

大学生活は、4年間で単位取得の上卒業というだけではあまりにも味気ないものです。好きな道とは言え、「大学ビッグバンドコンテスト」、「リサイタル」と大きな目標に向かい日々練習を積んでいる姿はなかなかよいものです。ニューオレのメンバーは楽器の演奏を通じて自信とよき友を得てOBとなってゆきます。

本日は大勢のOBの皆様方がお見えになり、現役生は聊か緊張しているかも知れませんが、ご満足のお届けできるかと思っております。先輩・OBの皆様方には、どうぞ今後ともニューオレに暖かいご支援を賜りますようお願い致します。



創立40周年、おめでとう。

軽音楽グループ名誉会長・中井 純

『40周年を迎えて』

第一期コンサートマスター・折居興二



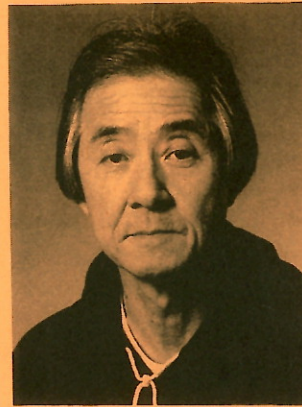
私たちニューオレのOBは、10年、20年と節目毎に振り返ることができる『過去』を持っていることに感謝している。

創部の頃、学生の余暇はパチンコ、マージャン、ジャズ喫茶、ダンスが定番で、ことにダンスパーティーは毎晩どこかしらで開かれ、スタンダードジャズやラテンを奏するバンドは引っぱりダコだった。当時、ダンスの学生チャンピオン、吉野・前島率いる法大ダンスの要請でニューオレは誕生し、部室も間借りした。その年、六大学ダンス選手権と全日本大学ダンス選手権の大会に出演。ダンス部生まれだけあって、ダンス関係者に大好評で、その後毎晩のようにパーティー出演となった。

1970年からは、山木幸三郎先生の指導を得て、本格的ジャズバンドとして今日に至った。

また、部長には中井純・斎藤茂の両教授にお受けいただき、学内での存在感も高めてくださった。毎年、青年たちがひたすらに追い求める場であり、それが永遠に続こうとしているニューオレに、バンザイを言いたい。

(宮間利之とニューハード・ギタリスト/アレンジャー) 山木幸三郎



先日、岡本(Ts)・木村(Tb)二人の美女が「OB会に贈る一言を」との事。今思うと伊藤梅男(Dr)・森田直人(Ts)との出会いから、何年、何人と、もうそれは思いつきません。ニューオレの精神とは、なんて大袈裟な事ではなく、それは「気をつく人」にあった様に思います。サーヴィス精神のない人は「気をつく人」になれないし、サーヴィス精神を馬鹿にしている人は己れ自身がほろびてしまう。なぜ「エリントン」が愛され、「ガレスビー」に拍手するかは、この音楽家等は骨の髄までサーヴィス精神があるからです。ニューオレは、人を喜ばす心がけを持ち、自分本位ではない、もっと「きをつく人」にならなければと思ってきました。

五・六年前一人のOBが『結婚したい相手が見つかったのですが、いま一つ...』。そこで僕が『向こうだって君のこと、そう思っているよ。それで彼女の何処が一番好きなの?』『約束の時間をきちんと守る』『それは、すごい。あとは君だけで、良くも悪くもなるのさ』彼は結婚し、今も円満。約束の時間を守らぬ人は、ニューオレの時間がどれほど大切なものをわきまえないからです。「気をつく人」「約束の時間」。いまにして、しみじみ思います。

山木 幸三郎

プログラム

1. 開会・ごあいさつ
2. 現役生による演奏
3. 卒業生による演奏
4. ご歓談
5. 閉会・ごあいさつ

NEW ORANGE SWING ORCHESTRA

40年の歩み

主な出来事とリサイタルの思い出

昭和35年	◆譜面＝市販のモノを使用し、あとは部員が耳で聞いて音を採譜する「耳コピー」	◆8月、ダンス研究会の部員であった折居興二氏により、応援団吹奏楽部などからメンバーを集め創設。ダンスバンドとして演奏し始める。
昭和36年	◆練習場＝幼稚園・お寺など。(騒音に対する苦情が絶えなかった)	◆10月、6大学ダンス選手権で法政大ダンス研究会が優勝。ニューオレも一流のダンスバンドとしての実力を付けていく。
昭和37年	◆学生運動のさなか、貴重な時間をJazzに費やすことは、日和見主義であるとの批判を自治会から受けることも。	◆全国的に実力を認められ、仕事の依頼が増加。3週間に及ぶ、北海道演奏旅行を行う。
昭和46年		◆「ライトミュージックフェスティバル」－軽音楽グループのリサイタルを、ギタークラブ・カントリーレンジャースと合同で厚生年金会館にて開催。
昭和49年	13回リサイタル	◆第1回リサイタル◆ 中井純先生のお力添えにより、軽音楽グループとして、学校内での地位を確立していく。
昭和51年	15回リサイタル	◆40年代から学生バンド界でも8ビート・ロック系音楽が影響し始める。そしてサド＝メルorch.の活躍もあり、各バンドともオリジナリティを追求するようになった。
昭和53年	17回リサイタル	◆そしてニューオレは……
昭和61年	25回リサイタル	◆山木幸三郎氏との出会い——第12回リサイタルの時のこと。伊藤梅男・森田真人、両氏が一升瓶を片手に山木宅を訪れ、紹介者無しにもかかわらず、「熱意」一つでアレンジをお願いしたのが始まり。
平成5年	32回リサイタル	◆山野ビッグバンドサークル主催「レッツドライブトゥゲザー」で「至上の愛」が「スイング・ジャーナル賞」獲得。
		◆山野ビッグバンドコンテスト敢闘賞
		◆山野ビッグバンドコンテスト敢闘賞
		◆山野ビッグバンドジャズコンテストTBSラジオ賞
		◆山野ビッグバンドジャズコンテストTBSラジオ賞

リサイタル・パンフレットに見る

ニューオレの40年



2000年度ニューオレ活動報告

- 4/3 法政大学入学式 正門前にて新入生歓迎演奏
- 4/5 法政大学多摩校舎 新入生歓迎演奏
- 4/12.14.15 第三音楽練習室にて 演奏
- 5/27 京王アサヒビアガーデン (新宿京王百貨店屋上) 演奏
- 5/28 横浜市立大学 ジョイントコンサート (学習院・専修・神奈川)
- 6/2 川越MIRAI 21 (川越ライオンズクラブパーティ)
- 6/24 明治大学和泉祭 中止のため代替企画 6/25
日本青年館 中ホールにてライブ (ジュニア初ステージ)
- 7/1 多摩4大学ビッグバンドコンサート (聖蹟桜ヶ丘アウラホール)
- 7/15 グリーンヒル寺田幼稚園 夕涼み会
- 7/30-8/4 夏合宿 (長野)
- 8/12 YAMANO BIGBAND CONTEST 22位
- 9/2,3 栃木県大田原市 ビータ (OB 青柳能明氏)
- 9/17 6大学ビッグバンドコンサート (目黒区公会堂)
- 9/30 法政大学創立120周年記念式 (新高輪プリンスホテル飛天の間)
- 10/21 40周年記念式典 (日本青年館 東洋軒)
- 10/28 千代田フェスティバル
- 11/3 文化女子大 学園祭
- 11/11 3大学ビッグバンドコンサート (日大リズム・中央スイング)
- 11/23-26 自主法政祭
- 12/5 川崎市婦人会ダンスパーティ
- 12/10 大田芸術フェスティバル
- 2/24 (土) 第39回リサイタル (新橋ヤクルトホール)

ニューオレ NOTE

現在、ニューオレの所属する軽音楽グループの会長である
斉藤 茂先生が今年度で退職されます。それに伴い、次期会長に就任される
方が決定しました。

堀上 英紀 (ほりかみ ひでき) 先生

- 昭和19年 兵庫県生まれ
- 昭和41年 高知大学文理学部理学科卒業 (生物学専攻)
- 昭和43年 東京教育大学大学院理学研究科
動物学専攻 修士課程終了
- 昭和46年 同 博士課程中途退学
- 昭和49年 理学博士の学位授与
- 現在、 法政大学第一教養部教授 生物学担当
 舞踏研究会の顧問も兼任

ごあいさつ

バンドマスター 石井隆郎

2000年——
人類が記念すべき年を迎える中、毎年1ページずつ、書き加えられてきた ニューオレの歴史も、40ページを数えるほどになりました。

昭和35年、夏。たった4、5人で踏み出した第一歩は、決して容易な一歩では無かったことでしょう。練習場をその日その日で確保し、譜面はレコードを何度も聴いて、耳でコピーする時代……
それから40年の月日が経ち、学校や学生を取り巻く環境は大きく変化しています。

現在のニューオレは部員数35名。レギュラーバンドでは半数を女性が占めています。そして大学側も、学校改革の一環として、昨年度、新学部を創設しました。そのうちの一つである、国際文化学部は、2年次からの留学を卒業の条件としており、現在も3名の2年生が留学中であります。
就職戦線の早期化、資格取得に向けてのダブルスクールなど、世間で話題になっている大学生の実状は、我がニューオレでも他人事ではなくなってきていて、3年次からの休部などもやむを得ない状況に加え、入学者数の減少もあり、部員確保が至難の業となっているのが現実です。そのため、短期大学や専門学校などからの入部希望者も受け入れをしていますが、卒業年度の問題、役職など、検討すべき課題もたくさん抱えながら、日々活動しております。

ひとりひとりの4年間、その中の一瞬は、あっという間に過ぎ去り、そのあとには、時間を共有した仲間には分らない感情や思い出、そして音が残ります。しかし、その一瞬一瞬が、歴代の先輩方や関係者の皆様の努力と、華々しい栄光に支えられたものであるということは、決して忘れてはならないことであり、それを次の世代に伝えることにより、ニューオレに「これからの40年」が生まれるのでしょう。

4年という時間は、終わってみればあっという間のものかもしれません。しかし、それでもニューオレの歴史の大切な1ページであることを忘れることなく、毎日大切に過ごしてゆきたいと思っております。
最後になりましたが、卒業生の皆様には、お忙しい中、お集まりいただき誠に有り難うございました。今後とも、よろしくご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。